

事後評価結果（平成27年度）

担当課：東北地方整備局道路計画第一課
 担当課長名：金森 滋

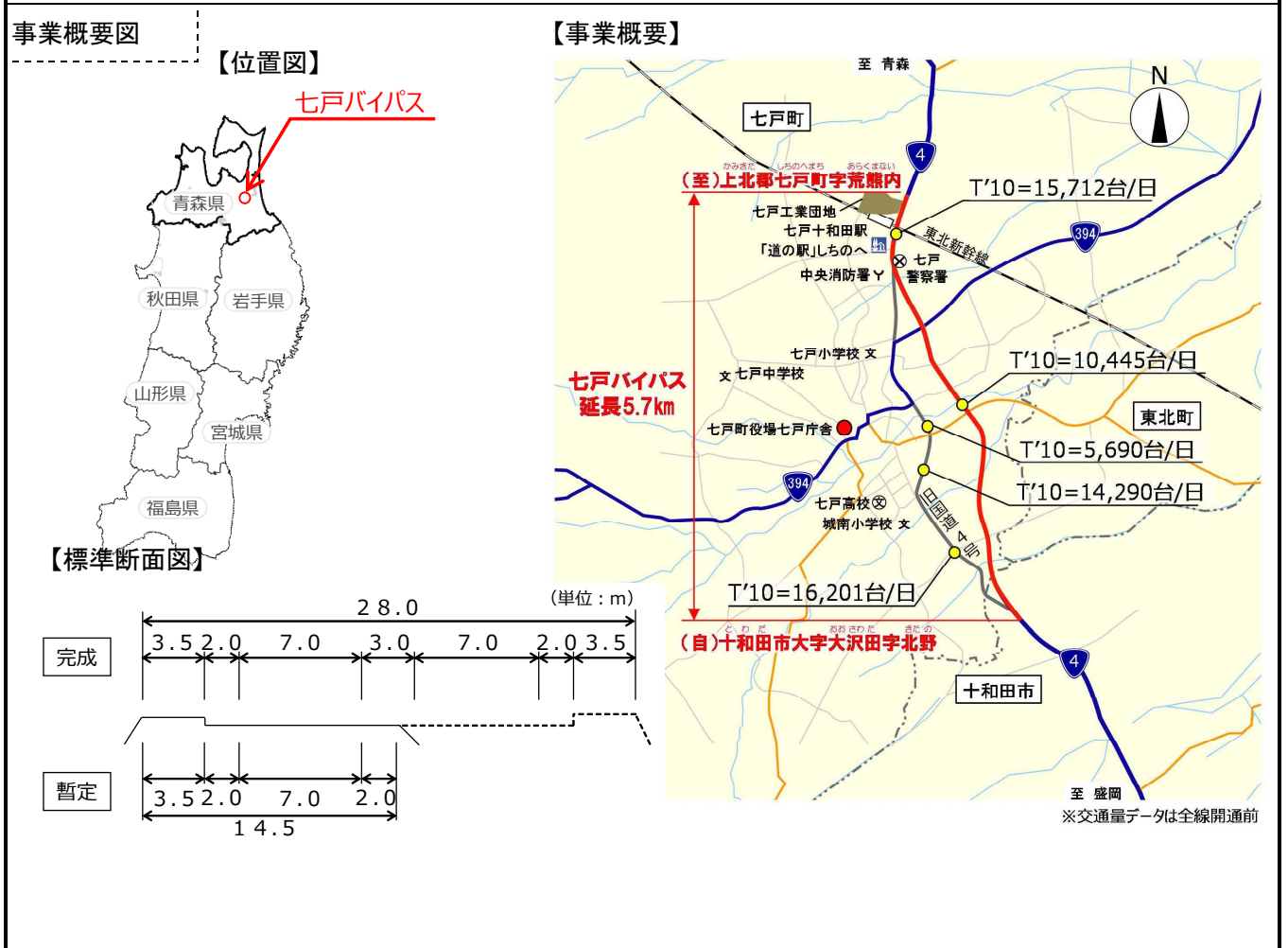
事業名	一般国道4号 <small>しちのへ</small> 七戸バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自：青森県十和田市大字大沢田字北野 至：青森県上北郡七戸町字荒熊内	延長	5.7 km		

事業概要

一般国道4号は、東京都中央区から青森県青森市へ至る総延長約889kmの主要な幹線道路である。
 一般国道4号七戸バイパスは十和田市大字大沢田字北野から上北郡七戸町字荒熊内に至る延長5.7kmの4車線道路であり、平成22年度に全線暫定2車線で開通している。

事業の目的・必要性

一般国道4号七戸バイパスは七戸町内の交通混雑や隘路区間の解消、安全で円滑な交通の確保、広域交流の促進を目的としている。



事業の 効果 等	事業期間	事業化	平成元年度	用地着手	平成6年度	供用年	(当初) - / -	変	動	一倍
		都市計画決定	平成元年度	工事着手	平成7年度	(暫定/完成)	(実績) H22 / -			
	事業費	計画時	(名目値)	- / 94億円	実績	(名目値)	72 / -億円	変	動	一倍
		(暫定/完成)	(実質値)	- / 138億円	(暫定/完成)	(実質値)	79 / -億円			
交通量 (当該路線)	計画時	(H20)			実績	(H27)		変	動	138.1%
	(暫定/完成)	- / 9,700台/日			(暫定/完成)	13,374 / -台/日				
旅行速度向上	37.1km/h → 49.6km/h			交通事故減少		73件/年 → 10件/年				
	(供用前現道→当該路線) (供用前年次) H15年度 (供用後年次) H26年度			(供用前現道→供用後現道)		(供用前年次) H17~19 (供用後年次) H23~25				

費用対効果 分析結果 (再評価)	B/C	総費用	104億円	総便益	131億円	基準年
	1.3	事業費 維持管理費	92億円 12億円	走行時間短縮便益 走行経費減少便益 交通事故減少便益	102億円 19億円 10億円	平成20年
費用対効果 分析結果 (事後)	B/C	総費用	122億円	総便益	166億円	基準年
	1.4	事業費 維持管理費	92億円 30億円	走行時間短縮便益 走行経費減少便益 交通事故減少便益	137億円 22億円 7億円	平成27年
事業遅延によるコスト増		費用増加額		便益減少額		
事業遅延の理由 ・特になし						
事業 の 効 果 等	客観的評価指標に対応する事後評価項目					
	<p>①新幹線駅へのアクセス向上の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・十和田市～東北新幹線七戸十和田駅 (H17:25分 ⇒ H27:24分)【1分短縮】 <p>②農林水産業を主体とする地域における農林水産品の流通の利便性向上の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・七戸町～下田百石IC (H17:50分 ⇒ H27:47分)【3分短縮】 ・家畜市場の取引金額の推移 (H21年度:35億円 → H26年度:44億円)【約1.3倍】 <p>③主要な観光地へのアクセス向上による効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東北新幹線七戸十和田駅～十和田湖 (H17:103分 ⇒ H27:85分)【18分短縮】 ・七戸町観光入れ込み客数 (H20:73.7万人 ⇒ H26:88.1万人)【約1.2倍】 <p>④新規整備の公共公益施設と直結されたことによる効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東北新幹線七戸十和田駅 日平均乗車人員 (H22年度:475人 ⇒ H26年度:712人)【約1.5倍】 <p>⑤現道等における交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等による安全性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧国道4号の日交通量 (H17:16,518台/日 ⇒ H27:3,882台/日) ・七戸バイパスの日交通量 (H27:13,374台/日)【約8割転換】 ・旧国道4号(国道394号)の死傷事故件数 (H17～H19:73件 ⇒ H23～H25:10件)【約9割減少】 <p style="text-align: right;">他10項目に該当</p>					
その他評価すべきと判断した項目 ・特になし						
事業 による 環境 変化	環境影響評価に対応する項目					
	<p>【交通騒音】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・騒音測定を実施し、全地点で環境基準値を下回ることを確認。 測定値:昼間62～65dB、夜間54～58dB (環境基準:昼間70dB、夜間65dB) 					
その他評価すべきと判断した項目 ・特になし						
事業評価監視委員会の意見 ・事業当初の目的に対して効果を発現しており、対応方針(案)のとおり、「今後の事後評価及び改善措置」の必要はないは妥当						
事業を巡る社会経済情勢等の変化						
<p>○新幹線の整備状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東北新幹線 平成22年12月 東北新幹線 八戸～新青森間(81.8km)、七戸十和田駅 開業 <p>○高規格幹線道路の整備状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東北縦貫自動車道八戸線 昭和61年11月 一戸IC～八戸IC開通 平成元年9月 安代JCT～一戸IC開通 平成7年 一般国道45号百石道路(八戸北IC～下田百石IC)開通 平成14年 八戸JCT～八戸北IC開通により全線開通 						
今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性 ・事業当初の目的に対し、七戸町内の交通混雑や隘路区間の解消、安全で円滑な交通の確保及び広域交流の促進等の効果を発現しており、今後の事後評価の必要性はない。 ・想定された効果についても発揮されており、当面、改善措置の必要性はない。						
計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性 ・特になし						
その他特記事項 ・特になし						

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。